

令和4年度

公益社団法人 伊勢市観光協会

事業計画

公益社団法人伊勢市観光協会 令和4年度 事業計画

新型コロナウイルス感染症の波は2年以上にも及び、第6波を数えるに至りました。伊勢市の観光におきましても、波が押し寄せる度に「人流」が止まり、地域の観光と経済に甚大な被害を与えてきました。未だに先行きは不透明なままですが、着実に快方へ向かっていると思われまます。令和4年度は、日々変化する状況を分析し最善の選択を行う「ウイズコロナ期」、そしてパンデミックが終息するが、以前とは違う価値観や新しいスタンダードが定着し対応を迫られる「アフターコロナ期」、この2つを考慮し次の手を打つことが重要になると考えます。

当会としては、地域の観光協会としてその観光と経済を守るべく、行政や関係団体等と協働し事業を遂行してまいります。代表的なものを挙げますと、情報発信におきましては、引き続きコロナ禍において重要な役割を担ってきているホームページの充実を図り、情報発信基盤の拡充を行います。外国人観光客へのアプローチに関しては、インバウンド需要の回復には時間がかかることが予想されるため、現地 PR ではなく、動画作成及び情報発信等を行ってまいります。感染症対策と混雑緩和策として市内 5 箇所に導入された非接触型タッチパネル搭載のデジタルサイネージでは、引き続き混雑情報など安心安全を補完できる情報の配信を行う予定です。来勢されるお客様へのおもてなしの最前線である手荷物事業に関しては、大規模な事業改革を予定しており、より良い事業を目指します。伊勢市から受託している伊勢市ふるさと応援寄附金 PR 及び発送業務に関しましては、新しいシステムの導入を予定しております。

情報発信部会、おもてなし行事部、青年部においては、各担当事業の遂行に努めていただき、中期政策検討部会は引き続き協会運営について協議を進めてまいります。観光交流伊勢会議実行委員会においては、日本観光祈願祭と併せて開催に向けて協議を進めてまいります。

令和 3 年度においては、様々なコロナ対策事業について伊勢市と協働をしましてまいりました。次年度に関しましては、要請があれば協議の上で実施協力をしていきたいと考えております。

人流を止め経済を停滞させたパンデミックも、人々の「旅行への思い」までは止めることが出来ず、逆に想いを募らせることになっていると思われまます。この人々の想いを、伊勢へ繋げることが重要であると思ひます。会員の皆様におかれましては、未だ大変な時期であると思ひますが、協会事業にご理解とご協力をお願い致します。

公益社団法人伊勢市観光協会
会長 濱田 典保

<公益目的事業－旅客誘致事業>

1 広報宣伝事業（情報発信部会）※括弧内は、事業を中心的に推進していく部署です

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化する中、実際の旅行が困難となっており、インターネットを介した情報発信の需要が高くなっております。当会としても、伊勢の知名度をさらに高め、多様化している国内外観光客のニーズに対応でき、オンタイムの観光情報を提供できるホームページを目指します。また、SNS（Social Networking Service、コミュニティ型の会員制のサービス）を活かしたリアルタイム情報の提供を行います。

日本観光祈願祭及び観光交流伊勢会議については、秋以降の開催を視野に観光交流伊勢会議実行委員会にて協議し、より良い事業を目指します。

観光御師及び観光大使事業においても、参加者の安全を確保しながらの開催を模索していきます。コロナ禍の影響で延期となっている、全国規模の新たなネットワーク組織の立ち上げに関しても、新型コロナウイルスの動向を伺いながら札幌市における組織の最初の立ち上げを進めていきます。

観光 PR 事業においては、新型コロナウイルスの状況で変更の可能性があります。首都圏、北海道での物産展を絡めた現地観光 PR イベントを行います。マスコットキャラクター事業においてはキャラクターを使用した効果的な情報発信に繋げていきます。さらに、青年部を中心として SNS を活用したリアルタイムな情報発信を行います。

外国人観光客誘客事業に関しましては、現在の状況を考慮し、本年も現地での誘客 PR に関しては見送ることとし、コロナ後に活用できる動画の作成やインターネット等を介した PR や情報発信、協会ネットワークを生かした PR を行います。

広報宣伝事業におきましては次の事業を行います。

1. ホームページ等、インターネットを利用した観光情報提供
(情報発信部会・青年部)
2. SNS 等を活用した観光情報提供 (情報発信部会・青年部)
3. 観光案内所における観光情報の提供 (案内所)
4. 行政との観光パンフレットの協働作成及び配布事業 (情報発信部会)
5. 観光物産展等の物品販売事業と連動した PR 誘客活動 (情報発信部会・青年部)
6. マスメディアへの資料提供、取材協力、並びに宣伝活動 (事務局)
7. 観光大使及び御師と連携し、口コミ等による全国発信の強化 (情報発信部会)
8. 第 55 回日本観光祈願祭の開催 (観光交流伊勢会議実行委員会)
9. 第 16 回観光交流伊勢会議の開催 (観光交流伊勢会議実行委員会)
10. マスコットキャラクター事業 (青年部)
11. 外国人観光客への PR 事業 (情報発信部会)
12. 開花情報配信事業 (情報発信部会)
13. 期間限定店舗「ISE SHOP」の企画、運営
14. その他広報宣伝事業

2 観光客の誘致接遇事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部）

伊勢市、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり会社など各関係団体と協働体制をとり、旅客誘致やおもてなし事業を企画推進していきます。

観光案内所の運営についてはアフターコロナであっても感染症に対応できる対策を万全とし、安心安全を第一に来訪者のニーズに濃やかに対応できる案内所を目指し、更なる改善をしていきます。レンタサイクル事業に関しては、シティサイクル、電動アシスト自転車及びE-バイクの運用を行い、更なる利用促進を図ります。ボランティアガイド事業に関しては、お伊勢さん観光ガイドの会との協議も含め、効果的な伊勢市観光協会のガイド事業を目指します。

外国人誘客（インバウンド）事業では、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を見据え、インバウンド委員会を中心に海外への情報発信・誘客を考えていきます。

昨年度、感染症対策と混雑緩和策として市内5か所に設置した「非接触型タッチパネル搭載のデジタルサイネージ」では、引き続き市内観光地の混雑状況及び観光情報の配信を行います。さらに、昨年度市内各所に設置したアルコール消毒スタンドを本年度も市内事業者と連携し、設置及び管理を行い、安心安全な観光地づくりを行います。

手荷物事業では、全体的な利用促進を図ると共に、大規模な事業の再構築を進めます。

観光客の誘致接遇事業におきましては次の事業を行います。

1. レンタサイクル事業（青年部）
2. 観光案内所の運営（案内所）
3. 「お伊勢さん観光ガイドの会」事業（ガイドの会、おもてなし行事部）
4. 各種大会等の誘致接遇（おもてなし行事部）
5. 歓迎塔、歓迎看板等の設置（事務局）
6. 伝統芸能振興協力（事務局）
7. 外国人観光客誘致事業（情報発信部会、インバウンド委員会）
8. 行政並び関係機関との次期御遷宮へ向けた協働事業（全体事業）
9. 伊勢市駅、宇治山田駅、外宮前観光案内所における手荷物事業（中期政策検討部会）
10. 観光地感染防止対策事業（情報発信部会）
11. デジタルサイネージを活用した混雑情報の配信（情報発信部会）
12. その他新型コロナウイルスの対策事業（全体事業）
13. その他誘致接遇事業

3 企画調査と組織事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、中期政策検討部会）

国・県・市の各関係機関から観光情報を取り入れ、観光に関する動向の調査・研究を行い、地域における観光誘致事業のあり方を考察し、特色ある観光地づくりの研究を行います。ナイトタイムエコノミー推進事業においては、観光客の夜間消費を喚起する情報ページなどの作成を視野に入れながら調査と企画を進めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 新しい観光地づくりの調査・研究（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
2. 観光大使及び観光御師制度の充実の為の企画調査（情報発信部会）
3. 先進観光地の研究、視察
（青年部、おもてなし行事部、情報発信部会、中期政策検討部会）
4. 外宮周辺の活性化対策への協力（青年部、おもてなし行事部）
5. ナイトタイムエコノミー推進事業（青年部）
6. 青年部活動と共同（青年部、親会）
7. 観光振興研修事業（おもてなし行事部）
8. その他

4 観光施策及び共催事業（おもてなし行事部、青年部）

伊勢市の伝統、文化を守り継承していく行事を支援し、伊勢を訪れる観光客に伊勢の魅力を伝え、再来訪や情報発信に繋がります。併せて観光事業を通じて関係各団体と連携を図り観光振興、発展に努めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 伊勢神宮奉納全国花火大会（おもてなし行事部）
2. 二見浦海水浴場浜開き式（おもてなし行事部）
3. 神宮観月会に併せた観月茶会の開催（おもてなし行事部）
4. 初穂曳への協力（おもてなし行事部）
5. 冬至の奉納（おもてなし行事部）
6. 越年行事 伊勢神宮奉納餅つきと年越餅の贈呈（おもてなし行事部）
7. 伊勢楽市（秋）開催協力（青年部）
8. 御幣鯛奉祝事業（おもてなし行事部）
9. 行政との観光PR企画事業（情報発信部会、青年部）
10. 伊勢まつりへの協力（おもてなし行事部）
11. その他各種団体行事への協力（おもてなし行事部）

5 関連団体への協力及び事業の推進

関連団体の中枢会員として、観光振興に関わる事業への協力並びに諸施策の推進を図ります。引き続き、伊勢志摩地域の関係団体等との連携を図り、広域的な観光を目指す方向で検討していきます。

以下の事業団体へ協力及び事業推進を図ります。

1. 伊勢商工会議所
 - ・ 中心市街地活性化協議会
 - ・ 伊勢音頭発展会
 - ・ 伊勢うどん協議会
 - ・ 夜の賑わい創出実行委員会
2. (公社) 伊勢志摩観光コンベンション機構
 - ・ 伊勢志摩学生団体誘致委員会
 - ・ 伊勢志摩観光企画委員会
 - ・ 伊勢志摩フィルムコミッション
 - ・ 伊勢志摩インバウンド担当者会議
3. 伊勢御遷宮委員会
4. (一財) 伊勢志摩国立公園協会
5. (公社) 三重県観光連盟
6. 伊勢市国際交流協会
7. (公社) 日本観光振興協会
8. 伊勢まちづくり株式会社
9. 伊勢青年団体連絡協議会
10. おもてなしヘルパー推進会議
11. 伊勢地域観光交通対策協議会
12. いせでわDMO (山形県主導事業)
13. 三重県観光・地域活性化協議会 (REVIC)
14. スマートシティ伊勢推進協議会
15. その他団体との協力、連携

6 協賛または後援行事

伊勢市内で開催される各種行事の観光誘致事業については賛同し、協賛及び後援をしていきます。

次の各種行事に協賛または後援をしていきます。

1. 猿田彦神社御田祭及び七五三祭
2. 倭姫宮例大祭(春・秋)
3. 伊勢高柳の夜店
4. 二見大祭しめなわ曳
5. 外宮奉納市
6. 外宮さんゆかたで千人お参り
7. 伊勢神宮奉納選抜社会人野球伊勢大会
8. 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
9. 伊勢まつり
10. おひなさまめぐり in 二見
11. 全日本大学駅伝対校選手権大会
12. 伊勢神宮奉納全日本学生弓道王座決定戦

- 1 3. 伊勢神宮奉納書道展
- 1 4. お伊勢さんマラソン
- 1 5. 松尾観音寺初午大祭
- 1 6. 神宮奉納大相撲
- 1 7. 金剛證寺開山忌
- 1 8. その他 協会が認める観光事業

7 市委託事業（おもてなし行事部、中期政策検討部会）

伊勢市から下記3事業を受託し事業を行う予定です。

1. 観光案内所

伊勢市観光案内所の運営を通し国内外から訪れる観光客に必要な情報提供や、おもてなしを行います。各種誘客キャンペーン事業にも協力を行い、伊勢志摩地域への周遊拠点の役割担います。

2. 二見浦海水浴場の運営（おもてなし行事部）

今年度は護岸工事により二見浦海水浴場の開設は行わない予定です。二見地区を中心とした周遊企画を提案し、伊勢市と協議し状況にあった事業を行います。

3. 伊勢市ふるさと応援寄附金 PR および発送業務（中期政策検討部会）

伊勢市ふるさと応援寄附金寄附者への返礼品発送業務等の受託をします。また、返礼品の充実や PR 業務も行います。

<収益事業>（中期政策検討部会、青年部）

公益目的事業遂行の為の資金調達及び誘客の為の情報発信を目的として下記の事業を行います

1 賃貸事業

伊勢市駅前ビルの賃貸事業に加え、風餐亭1F研修室を使った賃貸事業の今後を検討します。伊勢市駅前ビルにおいては、老朽化による修繕を効果的に実施していきます。

2 物品販売事業（青年部、中期政策検討部会）

ECサイトを使った情報発信と収益事業。インターネット通販（ECサイト）の拡充と各地イベントなどへの出店をしていきます。

伊勢市ふるさと応援寄附金については、行政と協働し情報発信や広報の充実や返礼品の商品開拓を図ります。また、管理システム及び物流連携システムを導入し、業務の効率化を図ります。

3 会員互助事業（情報発信部会、中期政策検討部会、青年部）

会報誌「ええじゃないか伊勢」の発行を行います。同時に会員互助事業についても事業企画等を行います。併せて、会員への迅速な情報共有を目指し、会員向け情報がホームページから取得可能であることの周知促進を図ります。さらに、SNS等の活用の検討を行います。

<本部事業>

1 中期政策検討部会

協会の運営や事業、その方向性などについて検討し、理事会へ提言していきます。本年度はさらに事業等の統廃合などの見直しを進め、コスト削減や運営の効率化を図ります。健全な協会運営に役立てます。

地域の観光をマネジメントする組織として、地域DMO（Destination Management Organization）の取得を目指します。

<新型コロナウイルス対策事業>

前年度におきましては、伊勢市との協議を行い緊急対策事業として様々な新型コロナウイルス対策事業を実施しました。今年度においても当会が協力できる緊急対策事業に関しては、協議の上実施をしていきます。

収支予算書(正味財産増減予算書)

令和4年4月1日から令和5年3月31日

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	11,600,000	5,580,000	6,020,000
②事業収益			
貸貸収入	6,812,000	6,600,000	212,000
物品販売収入	3,000,000	80,000,000	△ 77,000,000
受託事業収入	61,000,000	47,153,000	13,847,000
手荷物預り事業収入	2,500,000	2,200,000	300,000
バナー広告収入	900,000	900,000	0
事業収益計	74,212,000	136,853,000	△ 62,641,000
③受取負担金			
受取負担金	23,503,490	19,154,950	4,348,540
④受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金振替額	2,431,275	2,431,275	0
⑤雑収益	600,000	620,000	△ 20,000
経常収益計	112,346,765	164,639,225	△ 52,292,460
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	2,400,000	2,400,000	0
給料手当	31,026,430	31,195,120	△ 168,690
臨時雇賃金	4,780,000	3,680,000	1,100,000
福利厚生費	7,835,362	7,541,447	293,915
旅費交通費	2,761,360	2,598,240	163,120
通信運搬費	2,030,930	4,659,665	△ 2,628,735
建物減価償却費	1,480,495	1,480,495	0
建物附属設備減価償却費	59,351	59,351	0
構築物減価償却費	33,667	33,667	0
消耗品費	6,101,000	2,821,000	3,280,000
修繕費	1,407,000	3,307,000	△ 1,900,000
印刷製本費	6,044,600	6,442,100	△ 397,500
燃料費	45,600	45,600	0
光熱水料費	673,800	663,800	10,000
賃借料	2,170,920	2,174,920	△ 4,000
保険料	542,620	292,620	250,000
諸謝金	110,000	200,000	△ 90,000
租税公課	5,516,850	4,181,500	1,335,350
支払負担金	1,873,160	1,973,160	△ 100,000
委託費	20,492,820	15,250,668	5,242,152
会議費	792,500	762,500	30,000
渉外費	393,500	193,500	200,000
物品仕入高	2,240,000	74,000,000	△ 71,760,000
雑費	1,759,500	1,399,500	360,000
事業費計	102,571,465	167,355,853	△ 64,784,388

科目	予算額	前年度予算額	増減
②管理費			
役員報酬	1,600,000	1,600,000	0
給料手当	2,564,970	2,742,880	△ 177,910
福利厚生費	891,438	928,853	△ 37,415
会議費	107,500	107,500	0
旅費交通費	64,500	64,500	0
通信運搬費	545,670	511,915	33,755
建物減価償却費	1,465,235	1,465,235	0
建物附属設備減価償却費	72,542	72,542	0
構築物減価償却費	41,153	41,153	0
消耗品費	129,000	129,000	0
修繕費	43,000	43,000	0
印刷製本費	34,400	34,400	0
燃料費	34,400	34,400	0
光熱水料費	103,200	103,200	0
賃借料	419,680	419,680	0
保険料	110,080	110,080	0
租税公課	360,150	322,500	37,650
支払負担金	80,840	80,840	0
委託費	522,880	521,332	1,548
渉外費	64,500	64,500	0
雑費	150,500	129,000	21,500
管理費計	9,405,638	9,526,510	△ 120,872
経常費用計	111,977,103	176,882,363	△ 64,905,260
評価損益等調整前当期経常	369,662	△ 12,243,138	12,612,800
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	369,662	△ 12,243,138	12,612,800
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増	369,662	△ 12,243,138	12,612,800
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	297,662	△ 12,315,138	12,612,800
一般正味財産期首残高	42,379,058	54,694,196	△ 12,315,138
一般正味財産期末残高	42,676,720	42,379,058	297,662
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	2,431,275	2,431,275	0
寄付金振替額(指)	2,431,275	2,431,275	0
当期指定正味財産増減額	△ 2,431,275	△ 2,431,275	0
指定正味財産期首残高	78,816,451	81,247,726	△ 2,431,275
指定正味財産期末残高	76,385,176	78,816,451	△ 2,431,275
III 正味財産期末残高	119,061,896	121,195,509	△ 2,133,613

収支予算書内訳表(正味財産増減予算書内訳表)

令和4年4月1日から令和5年3月31日

単位(円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費				
正会員受取会費	5,800,000	250,000	5,550,000	11,600,000
②事業収益				
賃貸収入	3,000,000	3,812,000	0	6,812,000
物品販売収入	0	3,000,000	0	3,000,000
受託事業収入	44,627,000	16,373,000	0	61,000,000
手荷物預り事業収入	2,500,000	0	0	2,500,000
パナー広告収入	900,000	0	0	900,000
事業収益計	51,027,000	23,185,000	0	74,212,000
③受取負担金				
受取負担金	16,799,120	0	6,704,370	23,503,490
④受取寄付金				
受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金振替額	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
⑤雑収益	400,000	200,000	0	600,000
経常収益計	74,512,375	24,242,819	13,591,571	112,346,765
(2) 経常費用				
①事業費				
役員報酬	2,240,000	160,000		2,400,000
給料手当	30,427,616	598,814		31,026,430
臨時雇賃金	3,800,000	980,000		4,780,000
福利厚生費	7,584,016	251,346		7,835,362
旅費交通費	2,752,360	9,000		2,761,360
通信運搬費	1,574,790	456,140		2,030,930
建物減価償却費	587,890	892,605		1,480,495
建物附属設備減価償却費	26,378	32,973		59,351
構築物減価償却費	14,963	18,704		33,667
消耗品費	4,713,000	1,388,000		6,101,000
修繕費	401,000	1,006,000		1,407,000
印刷製本費	5,622,800	421,800		6,044,600
燃料費	40,800	4,800		45,600
光熱水料費	624,400	49,400		673,800
賃借料	1,959,360	211,560		2,170,920
保険料	265,560	277,060		542,620
諸謝金	110,000	0		110,000
租税公課	3,564,600	1,952,250		5,516,850
支払負担金	1,861,880	11,280		1,873,160
委託費	15,173,860	5,318,960		20,492,820
会議費	777,500	15,000		792,500
渉外費	384,500	9,000		393,500
物品仕入高	0	2,240,000		2,240,000
雑費	1,088,500	671,000		1,759,500
事業費計	85,595,773	16,975,692		102,571,465

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
②管理費				
役員報酬			1,600,000	1,600,000
給料手当			2,564,970	2,564,970
福利厚生費			891,438	891,438
会議費			107,500	107,500
旅費交通費			64,500	64,500
通信運搬費			545,670	545,670
建物減価償却費			1,465,235	1,465,235
建物附属設備減価償却費			72,542	72,542
構築物減価償却費			41,153	41,153
消耗品費			129,000	129,000
修繕費			43,000	43,000
印刷製本費			34,400	34,400
燃料費			34,400	34,400
光熱水料費			103,200	103,200
賃借料			419,680	419,680
保険料			110,080	110,080
租税公課			360,150	360,150
支払負担金			80,840	80,840
委託費			522,880	522,880
渉外費			64,500	64,500
雑費			150,500	150,500
管理費計	0	0	9,405,638	9,405,638
経常費用計	85,595,773	16,975,692	9,405,638	111,977,103
評価損益等調整前当期経常	△ 11,083,398	7,267,127	4,185,933	369,662
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 11,083,398	7,267,127	4,185,933	369,662
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	2,855,242	△ 2,855,242	0	0
税引前当期一般正味財産増	△ 8,228,156	4,411,885	4,185,933	369,662
法人税、住民税及び事業税	0	72,000	0	72,000
当期一般正味財産増減額	△ 8,228,156	4,339,885	4,185,933	297,662
一般正味財産期首残高				42,379,058
一般正味財産期末残高				42,676,720
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
寄付金振替額(指)	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
当期指定正味財産増減額	△ 486,255	△ 607,819	△ 1,337,201	△ 2,431,275
指定正味財産期首残高				78,816,451
指定正味財産期末残高				76,385,176
III 正味財産期末残高				119,061,896

(注)貸借対照表内訳表を作成していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計欄のみを記載している。

資金調達及び設備投資の見込みについて

【令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)】

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	借入先	金額		用途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達の方法	